特	許	協	力	条	約
าบ	PΙ	נענו	ノリ	不	ゕ゙゙゙゙゙゚゚

TO HI WA	/ RECEIVED
発信人 日本国特許庁(受理官庁)	<u> </u>
出願人代理人	'04.10.13
	HIROTA
殿	手続補正命令書
あて名 〒 107 - 0052	
日本国東京都港区赤坂二丁目8番5号若林ピル3階	
	(法第6条、法施30条) [PCT3条 (4) (ⅰ)、14条(1)、規則26]
	発送日(日. 月. 年)
	12.10.2004
出願人又は代理人の書類記号	応答期間
B12-04PCT	発送日から 1 月以内
国際出願番号	国際出願日(日.月.年)
PCT/ JP2004 / 014474	01.10.2004
出願人(氏名又は名称)	
独立行政法人科学技術振興機構	
出願人は、上記の期間内に手続の補正をしなければなら	ない。補正すべき事項は次の附属書に示されている。
	_
	書 B
(注意)	
補正の方法	
手続補正書に補正事項を補正した差替用紙を添付す	7 > 1.12 % 6 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
欄に差替えられる用紙と差替後の用紙との相違につい	ることにより付う。また、手続補止書の「補止の内容」の「
際されば複制の可能性に亜影響さればよっした。	て記載する。なお、補正によって書き換えられる用紙の明
■ 瞬さ及び複製の可能性に悪影響を及ぼすことなく、手	て記載する。なお、補正によって書き換えられる用紙の明 続補正書の「補正の内容」の欄から記録原本に書き換えら
■ 瞬さ及び複製の可能性に悪影響を及ぼすことなく、手れることができる性質のものである場合には差替用紙	て記載する。なお、補正によって書き換えられる用紙の明 続補正書の「補正の内容」の欄から記録原本に書き換えら
■ 瞬さ及び複製の可能性に悪影響を及ぼすことなく、手れることができる性質のものである場合には差替用紙	て記載する。なお、補正によって書き換えられる用紙の明 続補正書の「補正の内容」の欄から記録原本に書き換えら を省略することができる。
■ 瞬さ及び複製の可能性に悪影響を及ぼすことなく、手 れることができる性質のものである場合には差替用紙 (PCT規 注意	て記載する。なお、補正によって書き換えられる用紙の明 続補正書の「補正の内容」の欄から記録原本に書き換えら を省略することができる。 則 2 6 . 4 (a)、法施行規則様式第 1 5 備考 4 参照)
瞬さ及び複製の可能性に悪影響を及ぼすことなく、手れることができる性質のものである場合には差替用紙(PCT規	て記載する。なお、補正によって書き換えられる用紙の明 続補正書の「補正の内容」の欄から記録原本に書き換えら を省略することができる。 則 2 6 . 4 (a)、法施行規則様式第 1 5 備考 4 参照) られたものとみなす旨の決定がされる。
■ 瞬さ及び複製の可能性に悪影響を及ぼすことなく、手れることができる性質のものである場合には差替用紙 (PCT規)注意	て記載する。なお、補正によって書き換えられる用紙の明 続補正書の「補正の内容」の欄から記録原本に書き換えら を省略することができる。 則 2 6 . 4 (a)、法施行規則様式第 1 5 備考 4 参照)
瞬さ及び複製の可能性に悪影響を及ぼすことなく、手れることができる性質のものである場合には差替用紙 (PCT規注意 手続の補正がされないときは、国際出願は取り下げ	て記載する。なお、補正によって書き換えられる用紙の明 続補正書の「補正の内容」の欄から記録原本に書き換えら を省略することができる。 則 2 6 . 4 (a)、法施行規則様式第 1 5 備考 4 参照) られたものとみなす旨の決定がされる。
■ 瞬さ及び複製の可能性に悪影響を及ぼすことなく、手 れることができる性質のものである場合には差替用紙 (PCT規 注意	て記載する。なお、補正によって書き換えられる用紙の明 続補正書の「補正の内容」の欄から記録原本に書き換えら を省略することができる。 則 2 6 . 4 (a)、法施行規則様式第 1 5 備考 4 参照) られたものとみなす旨の決定がされる。
瞬さ及び複製の可能性に悪影響を及ぼすことなく、手れることができる性質のものである場合には差替用紙 (PCT規注意 手続の補正がされないときは、国際出願は取り下げ	て記載する。なお、補正によって書き換えられる用紙の明 続補正書の「補正の内容」の欄から記録原本に書き換えら を省略することができる。 則 2 6 . 4 (a)、法施行規則様式第 1 5 備考 4 参照) られたものとみなす旨の決定がされる。
瞬さ及び複製の可能性に悪影響を及ぼすことなく、手れることができる性質のものである場合には差替用紙(PCT規注意 手続の補正がされないときは、国際出願は取り下げ この補正命令書及び附属書の写しは、国際事務局	て記載する。なお、補正によって書き換えられる用紙の明 続補正書の「補正の内容」の欄から記録原本に書き換えら を省略することができる。 則 2 6 . 4 (a)、法施行規則様式第 1 5 備考 4 参照) られたものとみなす旨の決定がされる。
	て記載する。なお、補正によって書き換えられる用紙の明 続補正書の「補正の内容」の欄から記録原本に書き換えら を省略することができる。 則 2 6 . 4 (a)、法施行規則様式第 1 5 備考 4 参照) られたものとみなす旨の決定がされる。 (法第 7 条第 1 項、 P C T 規則 2 6 . 5 参照)
	て記載する。なお、補正によって書き換えられる用紙の明 続補正書の「補正の内容」の欄から記録原本に書き換えら を省略することができる。 則 2 6 . 4 (a)、法施行規則様式第 1 5 備考 4 参照) られたものとみなす旨の決定がされる。

特許庁長官

日本国東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 様式PCT/RO/106 (2004年1月)

電話番号 03-3592-1308

郵便番号 100-8915

Best Available Copy

様式PCT/RO/106 附属書 B

国際出願番号 PCT/ JP2004 / 014474

	りしな	_	は、特許協力条約に基づく国際出願等に関する法律施行規	則第30条	第1項第3	号に規定する要	件に適合
	[3	国際出願	について次の不備を発見した。	願書	明細書	請求の範囲	要約售
	а.		用紙が直接複製することができない。				
	b.		願書、明細書、請求の範囲、要約書がそれぞれ別の書面で作成 されていない。				
7	20		用紙に折り目、しわ、裂け目がある。				
7 10	đ.		用紙が縦長に用いられていない。				
74	e .		用紙の両面が用いられている。				
MAIN			用紙が可撓性のある/丈夫な/白色の/滑らかな/光沢のない /耐久性のあるものではない。				
	g .		用紙が所定のとじ方ではない。				
	j .		用紙の大きさが日本工業規格A列4番の大きさではない。 (横21cm、縦29.7cm)				
۸d	i .		用紙の余白が所定のとおりではない。 (最少:上端2cm、左端2.5cm、右端2cm、下端2cr	n)			
	j.		用紙に記載されている出願人又は代理人の書類記号が用紙の上述の余白の左隅であって上端から1.5 c m以内に記載されていた。				
	k.		出願人又は代理人の書類記号が12字を超えている。				
i	1.		明細書・請求の範囲・要約書にアラビア数字により連続した番号が付されていない。	루			
	m.		用紙の番号が用紙の上端又は下端の中央に付されていない。				
,	n.		用紙の番号が余白内に記載されている。(余白には記載できない	ハi参照)			
	ο.		書面がタイプ印書又は印刷により行われていない。				
	р.		用紙のタイプ印書の行の間隔が5mm以上(ローマ字を用いる。 きは1.5文字の幅)ではない。	۷			
	q.		用紙の記載事項の文字の大きさが4号活字(ローマ字を用いる。 きは大文字の大きさが0.21cm以上)ではない。	۲ 🗌			
	r.		用紙の記載事項の文字が暗色の退色性のない色ではない。				
	s.		書面に図が記載されている。				
	t.		用紙に訂正/重ね書き/行間挿入/削除箇所が多く行われてい	る・			
	u . (注	意)	用紙に複写の際のよごれがある。				
		明紐	書中の表1から表6及び化1の文字が小さく、かつつぶれている	•			

Best Available Copy

様式PCT/RO/106 附属書 C

国際出願番号

PCT/ JP2004 / 014474

ľ	図面は、	特許協	力条約に基づく国際出願等に関する法律施行規則第30条第1項第3号に規定する要件に適合しない
I	国際出願	の図面	について次の不備を発見した。
ı	I. 図面	の用紙	に関して
ı	а.		用紙が直接複製することができない。
I	b.		用紙に折り目、しわ、裂け目がある。
I	с.		用紙の両面が用いられている。
ı	d.		用紙が可撓性のある/丈夫な/白色の/滑らかな/光沢のない/耐久性のあるものではない。
I	е.		図面が別の用紙で作成されていない。
l	f.		用紙が所定のとじ方ではない。
١	g.		用紙の大きさが日本工業規格A列4番の大きさではない。(横21cm、縦29.7cm)
	h.		用紙の余白が所定のとおりではない。(最少:上端2.5cm、左端2.5cm、右端1.5cm、下端lcm)
	i .		用紙に記載されている出願人又は代理人の書類記号が用紙の上端の余白の左隅であって上端から1.5cm 以内に記載されていない。
l	j .		出願人又は代理人の書類記号が12字を超えている。
I	k.		用紙の使用することができる面又は使用した面の周囲に枠が記載されている。
ı	l.		用紙にアラビア数字により連続した番号が付されていない。(例:1/3、2/3、3/3)
I	m.		用紙の番号が用紙の上端又は下端の中央に付されていない。
l	n.		用紙の番号が余白内に記載されている。(余白には記載できない。 h 参照)
ı	о.		用紙に訂正/重ね書き/行間挿入/削除箇所が多く行われている。
I	p.		用紙に複写の際のよごれがある。
I	Ⅱ. 図面	に関し	T
l	а.		図面が直接複製することができない。不鮮明・文字がつぶれている。
I	b.	Ш	不必要な記載事項がある。
ı	с.	Ц	図面の語句が翻訳された場合に、図面の線にかかるような記載がある。
I	d.		耐久性のある、黒色の、十分に濃厚な濃墨等を用い、太さの均一な、かつ、明瞭な線で着色することなく 作成されていない。
I	e.		平行斜線によらない切断面がある。
ı	f.		縮尺による写真複製をしたときに容易に識別できない記載がある。
I	g.		図式によらない尺度が記載されている。
I	h.		簡潔かつ明瞭でない数字、文字、引出線がある。
	i .		製図用具を用いることなしに引かれた線がある。
1	j.		図中の他の要素に対し妥当でない比率で記載した図がある。
	k.		0.32cm以下の大きさの数字又は文字がある。
	1.		ローマ字及び慣習となっているギリシャ文字以外の文字の記載がある。
	m.		2 以上の用紙に描かれた図であって単一の完全な図を得るように用紙を合わせたときに隠れる部分がある。
	n.		適切に配置されていない図がある。
	о.		個々の図に連続したアラビア数字による番号が付されていない。
Į	p.		用紙の番号と関係のある番号が付されている図がある。
	q.		明細書に用いていない引用符号が記載されている。
	r.		明細書に用いられている引用符号の記載がない。
	s.		異なった引用符号により表示された同一の部分がある。
	t.		個々の図が上下を正しく、相互に十分に離されていない。
	u. (注意)		図の上端が用紙の左側になるように描かれていない。
- 1	4		